ｓ名前・

怪人名・ピノケイトス

性別・女

年齢・主人公と同じ歳

性格(普段)・不思議系

性格(怪人)・ヤンデレ

家族構成・父、母

好きな食べ物・アイス

好きな教科・座学全般

苦手な教科・特になし

生きたいデートスポット・水族館

キャラ設定(普段)

学力も運動神経も非常に高い。しかし、周りに合せることが苦手。他人と話していても、つい他人の思考を先読みし、一手、二手、先の発言をしてしまい周りを混乱させる。

(例・初めてあったら、相手の思考を先読みして突然自己紹介とか)

しかも基本的に前述の通り、平凡な人間よりも優秀な結果を出すため昔から距離を置かれがち。そのためクラスでも孤立しがち。

そのため心の奥底では寂しさを抱えている。

好きなお話は「くじら雲」。好きな理由は、クラスメイトが仲良しで自分も、皆と仲良くしたいと思っている。

また自分が孤立した原因のため、優秀や天才という言葉を嫌う。

また体力は無い。

キャラ設定(怪人)

ピノキオとそれに出てくる鯨がモデルの怪人。

自分の周りに浮いているランプから様々な効果がある香水を出す。

性格はまさにヤンデレ。愛情は重く、嫉妬深い。主人公を自分の物にするためなら、どんな犠牲も厭わない。

主人公に固執するのは、初めて自分と関わってくれた存在を失いたくない。一人になりたくないという気持ちからきている。

また、主人公以外には基本的に冷たい態度をとる。ただし普段の性格で優しくしてくれた人には多少軟化した対応をする。逆に普段の性格で無視をした者や距離を置こうとした者には無関心を決め込む。

セリフ例

(普段)

「私の名前は白波眠……え？　聞いてない？……そう……。名前聞きたいだろうとおもって」

「クジラ！……好き」

「ワタシは……君のこと……好き。一緒にいてくれるから」

「君は何か迷っている……だから……私のところにきた……ちがった？」

「天才……。ワタシ、そう言われるの……嫌いかも」

「一人は……寂しいよ……」

「ワタシを一人にするこんな世界……全部……嫌い」

(怪人)

「こんにちは♡　私の名前は……そうですねぇ誘飲怪人ピノケイトス。フフフ、軽くピノとでも読んで下さい」

「さぁ、思いっきり吸って下さい。そしたら、だんだんと頭がぼぉーとしてきます。大丈夫です。後はワタシがやっておきますから」

「アァ！　アァ、アァ、アァ、良いですわ！　ワタシを睨むアナタ様のその瞳♡　蕩けてしまいそうです」

「ワタシとあなた様の時間を邪魔する存在には……消えてもらいましょう」

「大丈夫です。アナタ様ただ、命令するだけで良いのです。さぁ、ご命令を」

「フフフフ、怖がらなくて良いですよ。すぐに、その体を……楽にしてあげますか」

「ま、まぁ今回だけ、見逃してあげますよ。さぁ、さっさとどっか行ってください」

「どうせ！　誰もワタシのことなんて誰も見てくれない！　誰もワタシを理解しない！　それなら……全て壊してしまいしょう」

ストーリー案

拘束イベント

暑くて上着を抜く。保健室

実家は家。父、母、一人っ子。

風邪イベント

体育＆保健室イベント

ストーリー

ピノケイトスと主人公との出会い　(この時は主人公に冷たい)

　　　　　　　　　　　　　　　↓

眠との出会い

(眠が階段を落ちたところを主人公が救う。そこから会話開始)

　　　　　　　　　　　　　　　↓

ピノケイトスとの二回目の出会い。

少し態度は軟化している。ただし、基本的にまだ敵対。自分の能力で主人公を追い詰めるがトドメはささずにその場を離れる

　　　　　　　　　　　　　　　↓

テストで悪い点を取ったところで眠と出会う。放課後、勉強会をする。

ここで、自分を理解しようとする主人公の姿に眠は恋心が芽生える。しかし、眠自身は未だ、恋心を自覚していない。

　　　　　　　　　　　　　　　↓

ピノケイトスとしてのバトル。その途中、瓦礫などが降ってくる。そこを主人公が救う。ヤンデレモード突入。主人公の呼び方がアナタ様に変わる。

　　　　　　　　　　　　　　　↓

六月結婚式イベント　スチル

場所控え室。

　　　　　　　　　　　　　　　↓

眠と合同で体育の授業をうける。その時、眠が倒れる。主人公は保健室に連れていく。保健室のベッドでジャージを脱がせる。すると、眠はきわどい格好で……スチルイベント

　　　　　　　　　　　　　　　↓

ピノケイトスを追っていくと体育倉庫に閉じ込められる。そこで、押し倒される。そこで、主人公はピノケイトスと眠の共通点を見つけて、ピノが眠なのではと疑念を抱く。

　　　　　　　　　　　　　　　↓

主人公は眠をデートに誘う。スチルイベント

(デート先は選択性にするが、水族館を選ぶと好感度が一番上がる。)

(眠は本当の自分を出すかどうか迷う)

水槽を二人で眺めるスチル　くじらを夢中で見る眠の横顔を見ていたら、こっちを見る。

　　　　　　　　　　　　　(夢の中だった的なフレーズあり)

　　　　　　　　　　　　　　↓

主人公は眠にピノデートの帰り道突然雨が降る。主人公は眠の家で雨宿りをする。そこで、眠が今まで寂しい日々を送っていたことを知る。

　　　　　　　　　　　　　　↓

ケイトスか遠回しに聞く。眠はシラを着る。

(無意識では、自分の正体がバレたかもと思いめちゃくちゃびびっている)

　　　　　　　　　　　　　　　↓

(ピノケイトスはマスコットに主人公を堕とす作戦を吹き込まれる)　スチルイベント

ピノケイトスに決闘を持ち込まれる主人公。決闘の場所につくと匂いを嗅がされ意識を失う。主人公は気がつくと、眠の家にいる。そこで眠＝ピノケイトスだとバラす。ピノケイトスは媚薬を嗅がせて主人公を襲おうとする。

(帽子を外す)

(ここで、選択し。抵抗を選ばなかった場合、バットエンド。主人公は操り人形になる)

主人公は抵抗して拒絶する。主人公に拒絶されたピノケイトスの情緒は不安定になる。作戦が失敗したことで、マスコットに怪人にさせられる。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓

暴走するピノケイトス。そこに他のヒーローが登場。巨大ロボットに乗ってピノケイトスを止める。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓

主人公は眠の心の内に入る。そして、眠の孤独や寂しさを知る。主人公は眠の心を解きほぐすために告白する。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓

告白されたことで眠の暴走は止まる。元のピノケイトスに戻る。ただし、意識は眠。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓

二人でマスコットを倒す。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓

数日後。二人で仲良く投稿する。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓

正月　イベント